

## 平成26年度「学校・地域パートナーシップ事業」取組の概要

| 市町村名 | 学校名等       |
|------|------------|
| 天理市  | 天理市立井戸堂小学校 |

## 1 基本コンセプト（取組のねらいや考え方など）

学校・地域パートナーシップ事業の一番のねらいは地域との関わりにあると考えている。どのようにして学校と地域が関わっていけるか、それが課題である。今年度は、ゲストティーチャーを活用して、「本の読み聞かせ」や「田植え・稲刈り」体験、「地域の文化財」の見学を行った。地域の方と子どもたちのふれあいが大切であると考えたからである。

来年度は学校支援ボランティアさんを活用して、幅広い交流ができるように考えている。また、支援だけでなく、子どもの見守りもお願いしたいと考えている。

## 2 特徴的な取組の概要

## ○「本の読み聞かせ」

毎週木曜日に、ゲストティーチャーを呼んで、本の読み聞かせを行っている。朝の時間に心を落ち着かせることで、授業にスムーズに入っていると考える。ゲストティーチャーが来られないクラスは自分で考えて本を選んでいく。



## ○「田植え・稲刈り」体験

田んぼを提供してくださる方をお呼びして、実際に2年生が田植えを体験させてもらった。初めての田植えであったので戸惑う児童も多かったが、徐々に田んぼに慣れ、終いには大きな声ではしゃぎながら活動することができた。



## ○「地域の文化財」見学

西井戸堂町にある妙観寺には、国の重要文化財である「十一面観音像」がある。3年生は、地域の学習としてこの文化財を見学に行った。地域の方のお話を聞き、自分たちの地域にこんなすばらしい物があると知って、とても感激していた。

